

# 保 存 活 用 計 画 書

景観資産の名称	まほろば・亀岡かわひがし～古代丹波の原風景～
申 請 者	丹波ニュー風土記の里整備構想促進協議会

## 代表写真

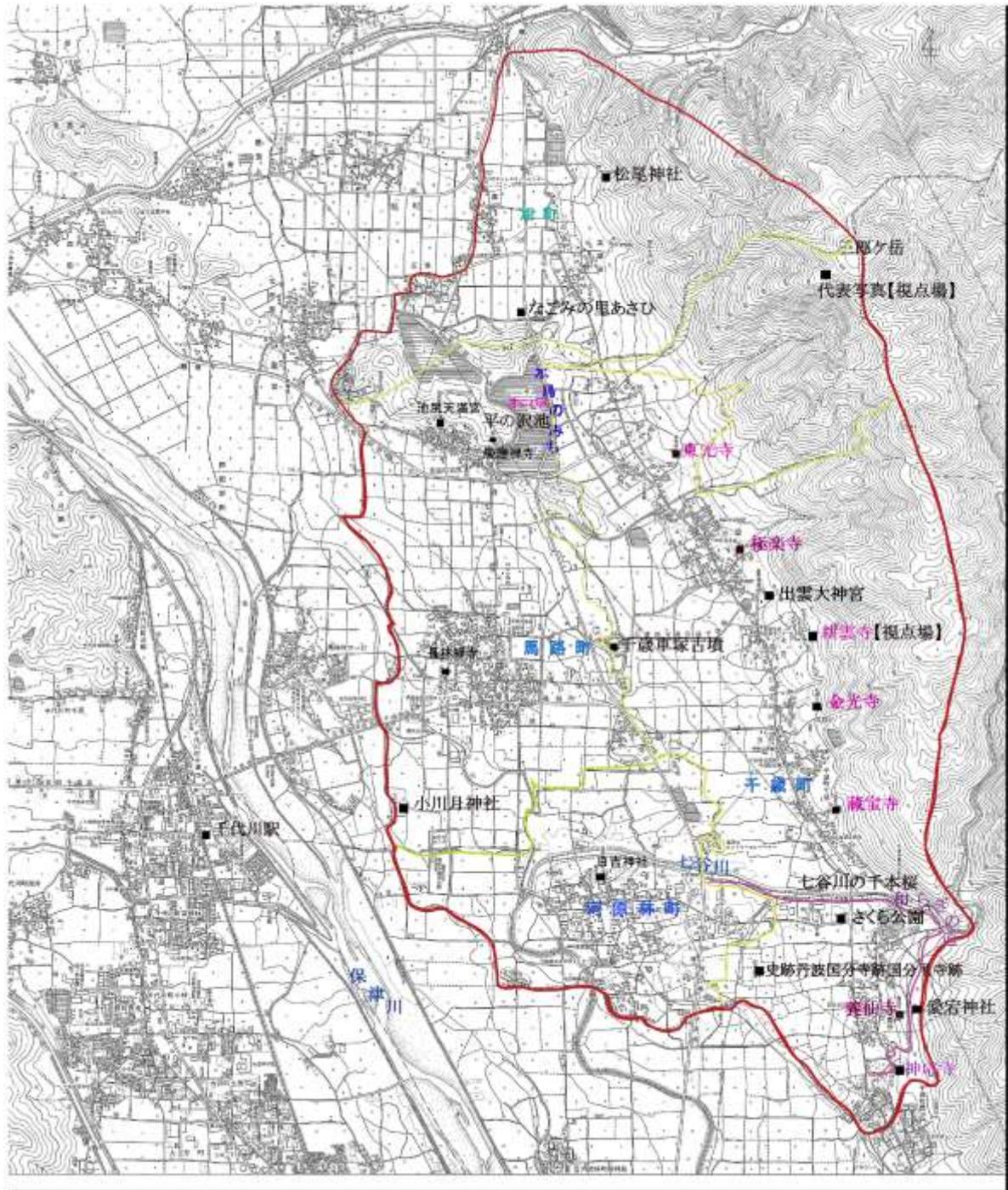


## 1. 位置及び範囲



### □位置及び登録範囲

亀岡市は京都府の中央部よりやや南寄りに位置しており、東は京都市と接し、また南は大阪府茨木市、高槻市、豊能郡と接する。対象地である川東地区（馬路町・旭町・千歳町・河原林町）は、市の北部に位置し、市を貫流する保津川（大堰川）と、京都市及び南丹市八木町の境界にはさまれた約 12 km<sup>2</sup>の緑豊かな田園地帯を中心とした地区であり、対象範囲として北は松尾神社辺り、南は神応寺辺り、東は三郎ヶ岳、西は小川月神社辺りまでを含むものとする。（別図参照。）



### □範囲設定の考え方

対象範囲は、地形的、地理的に一体的にとらえられる地区であるとともに、かつての丹波地方の中心地として、当地域の歴史的、文化的風土環境を語る歴史的文化遺産が集中的に分布している。また、周辺地域で各種の開発が進む中、幸いにもこれまで大規模な開発がなされず、比較的これらの遺産が良好な形で保存されていることから、地域を代表する歴史的文化遺産、及びそれらの基盤となる、或いはそれらを取りまく自然環境を、地域固有の歴史的風土を語る資産と捉え、ひとつのまとまりある地域として登録範囲に設定する。

## 2. 自然、歴史、文化等からみた特性

### □景観資産の魅力

広大な田園の内や山麓に沿って、かつての歴史的文化遺産が豊かに存在する、「亀岡の歴史の里・まほろば」——。かつての丹波地方のひとつの中心地であった川東地区には、数多くの歴史的文化遺産が残され、それらを取りまく自然環境と相俟って地域の歴史性や文化性を今なお色濃く伝えています。断層線崖に発達した扇状地や大堰川（保津川）の河岸段丘として形成され、七谷川などの小川が横断する土地一帯に広がる田園や、これらの広がりの中にみられる河原尻地区等の古くからの集落、竹林、雑木林、地区東側の愛宕山や牛松山等の山並は、今も往時を偲ばせ、日本人の原風景ともいえる郷土の風景をとどめています。また、本地区は、山陰道の東端、第一国にあたり、北は山陰道地域、丹後、若狭へ、西は播磨、摂津、東は山城、近江へとつながる交通の要衝に位置することから、様々な文物、人々の往来をはじめとする交流点として栄えてきました。特に古墳時代後期になると、ヤマト王権を背景に丹波国全域を治めた首長の墓として史跡千歳車塚古墳の築造が示すように、丹波の中心として政治・文化の中心として川東地域が栄えました。このようなことから、古代丹波国の政治、経済、文化等を物語る丹波国分寺跡や丹波国分尼寺跡をはじめ、千歳車塚古墳などの古墳群、丹波国一之宮出雲大神宮、山麓沿いの高台に築かれた社寺群など、地域の歴史や変遷を知るための数多くの文化財等が集中的に分布し、これら文化遺産とそれを取りまく自然環境とが一体となった歴史的風土景観を形成しています。また、これらの恵まれた歴史と自然景観を活用した「和らぎの道」や「七谷川の千本桜」、「山の辺七福神巡りの道」、「オニバス・水鳥のみちの平の沢公園」など、この地域を代表する景観となっている。



七谷川の千本桜



出雲大神宮

### □自然的特性

#### ・地勢

亀岡市川東地区（馬路町、旭町、千歳町、河原林町）は、標高 500～700m の山々に囲まれた亀岡盆地の中で、東部山麓断層崖下の浸食作用と、七谷川の氾濫による砂礫の流出堆積によって形成された扇状地上に位置している。その扇状地は緩やかに南西に傾き、大堰川東岸の河岸段丘に連なっている。穏やかな山並みを背景として、標高 150m から 90m の麓に連続する集落の家並みが続いている。

・亀岡市は丹波山地の一角を占める地蔵山（947.6m）、愛宕山（890.5m）、半国山（774.2m）等の山々に取り囲まれた亀岡盆地にある。川東地区はその中央部を北西方向に流れる大堰川沿い

を西に向かって緩く傾斜した段丘面から平地部に向かった場所に位置する。また、亀岡盆地の東端を南東方向に貫通している大堰川の左岸に位置する。

- 気候

亀岡市は、隣接する京都市と比べるとやや寒冷であり、冬季の冷え込みは厳しい。秋から冬にかけて、平地部では盆地特有の濃霧が発生しやすく、日照時間は短くなり、風は盆地であるためあまり強くない。耕雲寺前広場をはじめ高台から見下ろす雲海や朝霧の風景が季節の特徴的な景観要素となる。



- 動植物

川東地区は田園地帯であり、農地が広がり、北西から南東の方向に竹林が帯状に続いている。七谷川沿いや西側の集落との間には、栗林や雑木林が見られ、七谷川沿いには、桜が植えられ、桜並木となっている。東側の山地にはアカマツ群生が見られ、山裾には、コナラ群落や竹林、スギなどの植林も見られる。

- 平の沢池は、京都府内有数の探鳥地で、平の沢池沿いの道が「水鳥のみち」として整備されている。ここでは1年を通じて里山と水辺の野鳥が観察でき、特にカモ類が渡来する秋から春にかけては種類、個体数とも多くなり、探鳥に最適な時期となる。また、中池は府内唯一の希少種オニバスの自生地である。中池でのオニバス鑑賞のほか、下池では夏になるとピンクの花を咲かせるハスが見られる。



## □歴史・文化的特性

- 平の沢池

馬路町池尻に位置する平の沢公園には、平の沢池がある。農業用溜め池として整備された平の沢池は、上池、中池、下池があり、総称して平の沢池と呼ばれている。嵯峨にある大沢・広沢とともに「京の三沢」の一つである。

- 史跡丹波国分寺跡及び国分尼寺跡

川東地区を代表する歴史的文化遺産としては、史跡丹波国分寺跡及び国分尼寺跡がある。この遺跡は、741年の聖武天皇の詔勅によって全国に建立された国分寺及び国分尼寺の一つであり、同一線路上に東西500mという近距離に並立の位置にある全国的にも稀なもので、考古学、建築学はもとより、日本の歴史を考える上でも重要な学



丹波国分寺跡・国分尼寺跡

術的価値を持っていることから、国史跡に指定されている。また、境内にはオハツキイチョウとして知られる国分寺のイチョウやカゴノキ、ムクノキなどの市指定の天然記念物は静閑な国分寺の森の景観を醸し出している。

- 河原林町の石垣と生垣

河原林町河原尻には、石垣・生垣が集落全体に広がっている。石垣は膝高程度まで野石乱積みで、整形されていない10~20センチの石が積まれている。また、石垣の上にマキ、ツバキ、スギ、ヒノキなどの生垣が植栽されている。これらは七谷川の氾濫による洪水から敷地内への水の流入を防ぎ、またその水勢を弱める目的で敷地周囲に築いたものといわれる。この石垣・生垣と緑豊かな森と植栽によるまちなみが特徴的な景観となっている。



河原林町の生垣

- 東側の山すその「寺社群」

川東地区は、山すそに沿って集落が分布し、多くの寺社が並んでいる。日本に数ある七福神めぐりの中で、日本一早まわりの七福神といわれる「丹波七福神めぐり」のコースにもなっている。



耕雲寺【視点場】から

- 京の台所を担っていた田園地帯

亀岡の盆地と保津川の水、丹波霧、昼夜の寒暖差が高品質な京野菜をはじめとする農産物を生み出しており、古くから亀岡は京の台所といわれている。また、川東地区は京都府下有数の丹波大納言の生産地として知られている。

## □周辺環境との関係

- 川東地区は、平坦な田園地から山すそ沿いに集落が分布している。周囲の美しいやまなみや、大堰川をはじめ大小の河川（用排水路）、溜め池、山間部や水辺等の植生等、美しい自然景観に恵まれた地区である。
- 川東地区は、歴史的文化遺産が、京の台所の役割を担っていた広大な田園地帯や里山に沿って豊富に点在している。それらを結ぶように古代のハイウェイとも称される山陰古道が続く、「丹波亀岡の風土記の里・まほろば」である。



### 3. 景観の保存、育成及び創造に関する事項

#### □法律や条例などによる景観上の規制誘導事項

良好な景観を形成するために、亀岡市景観計画及び亀岡市景観条例を定めている。

登録範囲は市街化調整区域で、都市計画公園であるさくら公園周辺の七谷川緑地は都市計画緑地に指定されている。また、農業振興地域整備計画の中の農用地利用計画で農用地区域に指定されている。

#### □景観づくりの目標像

川東地区は、かつての丹波の中心部であり、数多くの歴史的文化遺産が分布し、また自然が豊かな地域である。これら恵まれた地域資源を保存継承するとともに、川東地区の活用を図り、その特性を生かした地域づくりを行っていくことを目標とする。

#### □景観づくりの取組

[現状]

##### ○川東地区の整備

川東地区の4つの町からなる（申請団体でもある）「丹波ニュー風土記の里整備構想促進協議会」を設置し、川東地区にある数多くの歴史的文化資産や新たに整備された公園、肥沃な農地で生産されるおいしい農産物等を結び付け、本市の観光エリアとして整備を進め、地域の活性化を目指した取り組みを進めている。

##### ○自治会による景観保全活動

川東4町の自治会では、農村環境の保全を図るために、非農家の町民の皆さんの応援も受けながら、草刈り、空き缶等のゴミ拾い、農業用水路清掃等の作業を定期的に行っている。また、農地・水環境保全に係る補助事業も活用しながら、農村環境、農村景観の保全に取り組んでいる。



### ○オニバスの保護活動

平の沢池（特に中池・下池）には、全国的にも数少ない、京都府内唯一のオニバス（スイレン科の水生植物で、夏に巨大な葉を水面に広げ、直径3～4cmのきれいな古代紫の花を咲かせる）の自生地であり、京都の自然二百選にも登録されている。平成6年に池尻区の有志により、オニバスを守る会が発足された。絶滅の危機にあるオニバスの保全・保護活動、また、オニバスの開花状況の記録、自然環境の保全・生態や生育環境の調査等を通じて見守り活動を行っている。



### ○平の沢池周辺環境の保全活動

平の沢池は、水草が茂り、多くの水鳥の訪れる自然の宝庫であり、四季折々の景観を楽しむことができる場所である。特に四季を通じて水鳥の生息場所となっており、多種類の野鳥（春のカワセミ、コガモ、カイツブリ、夏のオシドリ、秋のコサギ等）が飛来し、鳥獣保護区ともなっている。水鳥の道として整備された散策路、駐車場、トイレ等の清掃とともに、池周辺部の除草作業、ゴミ収集、落ち葉清掃等が、水鳥の道愛護会により実施され、環境保全活動が行われている。

## 4. 景観を活かしたまちづくりへの展開に関する事項

### □景観を活かしたまちづくり活動

#### [現状]

千歳はでっかい宝船「丹波七福神フェスティバル」

出雲大神宮 春・秋の例祭「出雲風流花踊り」

愛宕神社 鎮火祭

各神社仏閣での取り組み（神事）

七谷川のさくらまつり

なごみの里（直売所）

このほか、川東の各町において、地元の地域資源を生かすまちづくりを実施している。

#### [課題]

- 川東地区では山々と大堰川にはさまれた南北に細長い土地に見所が点在しているため、それぞれの場所へのアクセスが課題となる。また、神社・仏閣・名所・旧跡については、一部を除いて駐車場や休憩所等の整備が課題となる。
- 豊富な歴史文化資産を巡るための案内標識が十分ではないため、より分かりやすい標識の設置等をしていく必要があると考えている。
- 国史跡に指定されている丹波国分寺跡に隣接する国分尼寺跡の国史跡指定への取り組みが必要である。

#### [景観を活かしたまちづくり活動のアイデアや方針]

##### ○散策路の充実

川東地区の観光拠点の一つとなる七福神めぐりを、さらに魅力ある観光拠点となるよう、七福神などの散策路のルート作成を進めるとともに、七谷川沿いの和らぎの道の整備等を進めていきたいと考えている。また、公共機関で来訪される方には、路線バスの充実を図り、自動車で来訪される方には駐車場の確保や直売所等の確保を行う等、観光振興に取り組んでいきたい。

##### ○かめまる観光レンタサイクル

亀岡市内のJR4駅の駅前駐輪場及び「なごみの里あさひ」で観光レンタサイクルの貸し出しを行っている。丹波七福神めぐりや出雲大神宮などでの利用が人気で、来訪者のさらなる増加を目指している。

##### ○新たなイベントの開催

川東地域を流れる七谷川周辺の桜を活用した、さくらまつりや国分寺跡を活用したイベントの開催を行っていききたいと考えている。

## ○平の沢公園等へのアクセス

平の沢公園へ行くには、交通機関を利用すればすぐ横にバス停があり、また、自家用車の駐車場も整備されている。川東地区にある神社仏閣、史跡や名所へのアクセスに課題があるため、川東地区に来訪者用の駐車場を数カ所設置し、にぎわいのある川東のまちづくりに向けて取り組んでいきたい。

## 5. その他必要な事項

### □提案団体の概要

#### ■組織名称

- ・丹波ニュー風土記の里整備構想促進協議会

#### ■設立日

- ・平成28年7月2日

#### ■事務所の所在地

- ・馬路町自治会（会長所在地の自治会）

#### ■会員数

- ・1,500世帯

#### ■設立目的

川東地域は、かつての丹波の有力な中心部であり、数多くの歴史的文化遺産が分布し、これらが豊かな自然環境とマッチし、さらには美味しい食材、人為的に整備された公園等も相まって、近隣の観光地とは異質の魅力満載な地域である。この会は、これらの優れた資源を、点から線、線から面へと有機的に結び付け、本市の有力な観光エリアとして整備し、もって川東地域の、ひいては亀岡市の観光振興を図り、本地域の地方創生戦略の要としていくことを目的とする。

#### ■主な実施事業

- ・観光振興のための活動（標式や案内マップの作成、サイクリングコースや散策路等の充実）
- ・地域課題の解決

#### ■景観資産の登録範囲と団体の活動の関係等

- ・自然環境保全、美化活動
- ・イベント等の開催

#### ■アクセス方法

JR嵯峨野線 亀岡駅もしくは千代川駅からふるさとバス利用  
京都縦貫道 千代川ICから車で約10分から15分